

HOTでスマイル

より快適なHOTライフのための広報誌

第44号

利用者様とご家族に寄り添った療養支援

訪問看護ステーションきりゅうは開設23年目を迎える、桐生市医師会立のステーションです。桐生メディカルセンター1階にあり、看護師4名、理学療法士1名、事務1名の計6名と少人数の職場ながら和気あいあいと活動しています。

看護師の中には呼吸療法認定士がおり、呼吸リハビリや吸入療法・酸素療法の指導を行っています。2年前に入職した理学療法士は病院で様々な経験を積んでおり、在宅でのリハビリに生かしています。他のスタッフも積極的に研修に参加し、チーム内での在宅酸素療法や、人工呼吸器、中心静脈栄養法に使用するカフティポンプ等の使用機器の勉強会(マルホンさんご協力)を実施し、ご利用者様が安心して在宅支援を受けられるよう努力しています。

24時間在宅できめ細やかで安心の支援が可能な心強いチームメンバーです。

主治医とは面談や電話での相談、医療介護関係者向けのSNSの使用により、迅速な情報共有ができる体制になっています。現在はアルコール消毒やマスク着用など、感染対策に細心の注意を払いながら、桐生市やみどり市内を対象に、1日平均5件ほど訪問しています。

利用者様のそれぞれ築き上げた生活スタイルや価値観は1人1人異なります。個別性を尊重し、ケアを行っています。利用者様を支えるご家族に対しては、不安や負担を軽

減できるよう、安心して在宅生活を送れるよう、利用者様とご家族の双方に寄り添った療養支援を心がけています。また、医師会の先生との連携で、人生の終末期における在宅支援も数多く対応させていただいています。

訪問看護は介護保険や医療保険、労災保険で利用することができます。ご利用の際はかかりつけの医療機関様、ケアマネジャー、包括支援センター、各自治体等にご相談ください。

コロナ禍の中、外出する機会が減り、運動不足になりがちになります。運動不足は持病の悪化や免疫力の低下、心身の衰弱など様々な悪影響を身体にもたらします。無理のない範囲で、自宅でできる運動の継続を目指していきましょう。

これからもご利用者様やご家族に寄り添った訪問を行っていききたいと思っております。

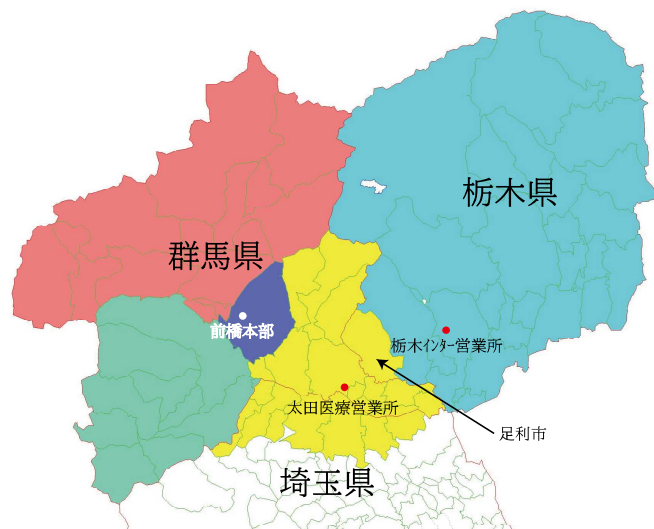


訪問看護ステーションきりゅう
の皆様 (2019年末撮影)

ご案内

栃木市に営業所を開設しました

令和2年8月17日、在宅医療部の新たな拠点として、栃木インター営業所を開設しました。太田に進出して以来、実に四半世紀ぶりの新規出店になります。栃木インター営業所というだけあって、栃木ICのすぐ近くにあります。東北道と北関東道を利用して、徐々に栃木県全域に営業エリアを拡げていく予定です。これにより、栃木県の患者様にも迅速にサービスをご提供できるようになります。栃木県の皆様、どうぞ栃木インター営業所にご期待ください。



足利市はこれまでどおり、太田（田中）が担当致します。佐野市以北が栃木インター営業所の営業範囲になります。



8月17日PM 神主さんの祝詞奏上で厳かに開所式を行いました。コロナ対策のなか一瞬だけマスクを外して記念撮影。

HOTの 快適グッズ

マルホンの感染症対策

新型コロナウイルス感染症は終息の兆しが見えません。在宅酸素の患者様宅を訪問している私たちは、皆様の元へお伺いすることが難しくなっています。

当然のことですが私たちも感染症対策には特に配慮しています。ここで改めてマルホンの主な感染症対策をご紹介します。

- ①事務所入室前に体温計測を行い、毎日記録します。
- ②ドアノブやパソコンなど不特定の人が触れる場所は1日2回以上アルコール消毒します。
- ③営業エリア内でクラスターが発生するなど一定の条件になったときは時差出勤体制を取ります（9月1日現在実施中）。
- ④事務所内の向かい合った机はビニールシートで遮蔽しています。
- ⑤全員にマスク、消毒用アルコール、ゴム手袋、ゴーグル、防護服を配布。患者様宅の出入ごと

に手指消毒をします。万一感染疑いの患者様が発生した機器を回収するときはビニールで梱包し、他の機器と触れないようにします。

このようにできることはしていますが、この先市中感染が広がってしまうと防ぎようがないかもしれません。そこで現在定期点検については、患者様のご意向を確認した上で行わせていただいております。

ただ、通常どおり営業していますし、ポンペ配送や不具合時の対応は行っていますので、患者様



前橋事務所内
わかりにくいですがビニールで遮蔽しています

にご迷惑をおかけしない体制は整えています。どうぞ皆様も感染には十分注意してお過ごしくださいますようお願い致します。

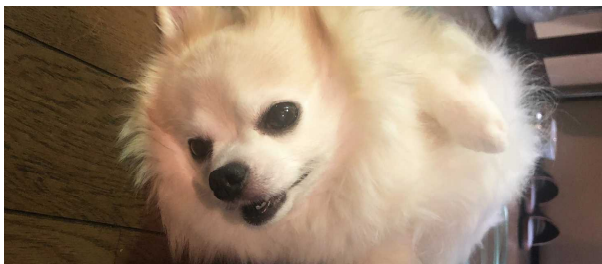
い き い き HOT さん



群馬県高崎市
加邊 弘美さん
(HOT 歴 7 ヶ月)

酸素と愛犬と仲良く過ごしています。

今回は高崎市宿大類町にお住いの加邊さまにお話を伺いました。お顔は恥ずかしいとのことでしたので愛犬のモナちゃんのお写真になります。



お生まれは北海道ですが、親の転勤の関係により埼玉で2年程過ごし、その後に群馬に引っ越してきたそうです。群馬は自然が多く住みやすいので群馬に来てよかったとのことでした。

去年の冬に風邪かな？とのことで内科を受診しましたが、SP02 が 70% 以下になってしまい急遽入院することになり、退院と同時に酸素の使用を開始したそうです。慣れるまではボンベを持って買い物に行っても SP02 が 56% まで下がってしまったり、家事も今までの倍以上時間がかかるようになり大変だったそうです。始めは抵抗がありましたが、酸素を使用することで呼吸が楽になり酸素ってこんなに効くのか！と思ったそうです。今では酸素とうまくつきあって日常生活を送っているとのことでした。

お話の中で HOT 導入にあたり 3 件の業者がありマルホンを選びました、とのことでしたのでマルホンの印象を聞いてみました。

初めてのことで不安でしたが、設置に来てくれた方の説明が分かりやすく端折らないできちんと説明してくれる。人柄がよくてしっかり教育されているので、マルホンを選んでよかったとお褒めのお言葉をいただきました。私に対しても明るくて毎月点検に来てくれるのが楽しみと言っていただけでうれしかったです。

加邊さんの趣味は映画鑑賞と読書で、時間を見つけて楽しんでいるそうです。特に人間関係ものが好きでサスペンスや時代物を選んでいきますとのことでした。配送、点検時には笑顔で迎えてくださりありがとうございます。今後も安心して酸素を使用いただけるように努力をしていきたいと思っています。

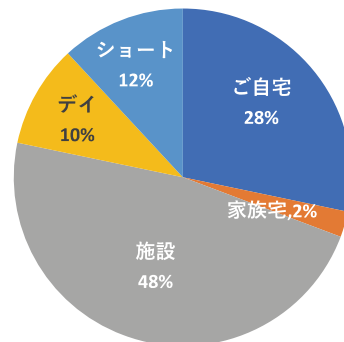


チワワのモナちゃん・・・癒やされますね

HOTのホント!?

HOT 患者様がいつでもどこでも安心して酸素吸入できるように、必要に応じて2台目の濃縮器をお貸し出ししています。例えば、定期的にデイサービスやショートステイをご利用になる場合や、1ヵ月の何日かはお子様の家に行かれる場合などです。同じ敷地内でも母屋と就寝場所の棟が異なる場合などにも対応致します。

但し、全ての患者様のご要望にお応えするのは難しいので、個別に状況をお伺いした上で適切なご提案をさせていただきます。



複数台設置の内訳
(R2年7月マルホン調べ)

HOTな社員紹介

こんにちは。西毛エリア配送担当の山浦一磨です。

今年の1月に入社して8ヶ月目になります。

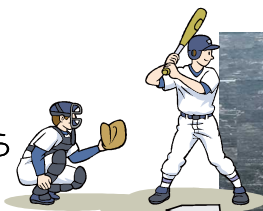
趣味は野球とお菓子作りです。野球は小学4年生から初めて今も社会人野球で身体を動かしています。



また前職ではパティシエ時の経験を生かし

カフェで店長をやらせて頂きました。

まだまだ覚える事がたくさんありますが、日々の積み重ねを大事にして初心を忘れず頑張っていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。



やまうら かずま
山浦 一磨
西毛エリア担当



知って得する! クイズコーナー

Q1 携帯用酸素ボンベを保管する場所は、何℃以下の場所で保管しなければいけないでしょうか?

- ① 30℃
- ② 40℃
- ③ 50℃

Q2 酸素使用時は火気の取扱いに注意が必要です。酸素の使用中は火気から周囲何メートル以内に装置を置いてはいけませんか?

- ① 0.5m
- ② 2m
- ③ 5m

クイズのこたえ

Q1 ② 夏の閉めきった車内や直射日光のあたる場所に保管すると40℃を越えることがあります。

Q2 ②酸素使用中の火気との距離は2mです。一方、液酸の移充填中は5m離す必要があるのでご注意下さい。

編集後記

●一年間 HOT でスマイルの編集委員を務めさせて頂きました。ありがとうございました。
「在宅医療に、より快適さを」をモットーに今後も医療機関様、患者様の期待添えるよう頑張っていきたいと思います。(あさい)

●今回の巻頭ページは訪問看護ステーションきりゅうの皆様にご協力を頂きました。お忙しいなか、大変ありがとうございました。(かわうち)

●30度以上の真夏日が続いていますが適度な休憩と水分補給に気をつけて、熱中症を予防してください^^ (ゆか)

●今号は1ヵ月ずらしての発行となりました。コロナでなかなかお目にかかれない患者様もあり寂しく思っています。皆様と以前のようにお話しできる日が来ますように。(すずき)